

平成 21 年度学校評価報告書

【金光大阪中学校・高等学校】

学校評価を実施しましたので、次のとおり報告します。

．実施要領

〔 1 〕教職員による自己評価

（ア）評価者の内訳

教諭 35 人（休職者 1 名を除く）、常勤講師 26 人、非常勤講師 8 人、
事務職員 10 人 総計 79 人

（イ）実施方法

学校評価計画書（様式第 1 号）に基づくアンケート個人回答調査

（ウ）実施期間

平成 21 年 12 月 21 日（月）～ 12 月 26 日（土）

（エ）回答率

100%

．学校評価計画書（様式第 1 号）

（ア）平成 21 年 4 月 22 日（水）の学校評価委員会において、新たな評価項目を追加

（イ）「 1 . 私学の独自性 」・「 2 . 学校経営の参画意識 」の評価項目を新たに設け、それぞれ 3 つの評価指標を設定（別紙資料参照）

．自己評価集計結果

平成 22 年 1 月 13 日（水）の学校評価委員会において、集計を行う。

教職員の自己評価に関するアンケート集計結果の肯定的評価（「 A よくあてはまる 」・「 B ややあてはまる 」を加算した数値）が 75% を上回る評価指標に関して、達成度評価を A と判定する。

評価項目	評価指標	達成度 評価
1 私学の独自性	1 建学の精神に基づいた「人間平等」「個性尊重」「心を育てる教育」が教員・生徒によく浸透している。	A
	2 朝礼時における「朝の祈り」が厳粛な雰囲気の中で行われている。	A
	3 教会参拝や感謝祭等の行事が生徒にとって「心を育てる教育」に有効なものとなっていると確信している。	A
2 学校経営の参画意識	4 「学校教育方針」や年度当初、校長によって発表される「学校経営方針」を理解し、積極的に学校経営に参加する意識を持っている。	A
	5 様々な教育課題の解決に向けた取り組みに積極的に参加し、主体的に行動している。	A
	6 校務分掌の目標を理解し、組織の一員として積極的に参画し、主体的に職務を遂行している。	A
3 教育課程・学習指導 (各教科等の授業の状況)	7 生徒の授業についてのアンケートをもとに、授業方法の改善や工夫をしており、授業の質を高めている。	A
	8 生徒の学習効果があがるように、家庭学習の習慣や教科ごとの学習のし方について指導している。	A
	9 補習や進学講習について、生徒にとって魅力あるものにするための工夫をしながら取り組んでいる。	A
	10 到達度の低い生徒に対して、意欲や興味・関心を引き出す工夫をしている。	A
	11 学習意欲の高い生徒に対して、さらに伸ばす指導の工夫をしている。	A
	12 生徒に対して情報化社会に必要な能力を身に付けさせる指導を行っている。	A
4 教育課程・学習指導 (教育課程等の状況)	13 文化祭や体育大会などの行事に、生徒が意欲的に取り組めるよう努めている。	A
	14 入学式や卒業式などの学校行事について、人生の節目としての意義を大切に、感動のあるものにするよう努めている。	A
	15 部活動の意義を重視し、より多くの生徒が活動出来る態勢を整えている。	A
	16 生徒の人権を尊重し、人権の侵害や差別意識の助長を許さない学園づくりを進めている。	A
5 進路指導	17 生徒にとって必要な進路についての情報を提供し、目的意識を固めるよう努力している。	A
6 生徒指導 (生徒指導の状況)	18 生徒が通学できることに喜びを感じる学園づくりに励んでおり、欠席や遅刻の防止にも配慮している。	A
7 生徒指導 (生徒の人格的発達ための指導の状況)	19 挨拶できることを大切に、基本的な生活習慣の定着とマナー向上を図っている。登下校時の指導も行き届いている。	A
	20 放縦な生活態度を認めず、服装や頭髪指導においても規範順守を求めており、ほぼ満足いく状態にある。	A
	21 思春期にある生徒に対して必要な知識や行動力を身につけさせる指導を行っている。	A

8	保健管理	22	生徒の健康状態を把握することに努め、衛生や学習環境の安全についても配慮している。	A
9	安全管理	23	事件・事故が発生した場合の迅速な対応について、平素から共通理解ができており、緊急事態に対応できる。	A
		24	生徒のプライバシーを尊重しており、個人情報の管理にもマニュアルを定めるなど特段の配慮をしている。	A
10	研修 (資質向上の取組)	25	校内で他の教員の授業を見学したり校外での研修会に参加して、授業方法等について検討する機会を持っている。	A
11	情報提供	26	教育活動への理解と協力を得るために、学校発信の情報提供を行うと共に、保護者からの疑問や質問にも答えている。	A
12	保護者、地域住民等との連携	27	定期的な懇談以外に、電話連絡や家庭訪問をするなど保護者との連携を積極的にすすめている。	A

全教職員（教諭・常勤講師・非常勤講師の一部・事務職員）

- 自己評価の結果，改善が必要とされる評価指標について
特段の改善が必要とされる評価指標を認めず。

<ul style="list-style-type: none"> 評価結果の公表方法 		
手 段	時 期	対 象
本校の保護者広報誌〔育友会広報誌「はぐくみ」〕に結果を公表	3月	中学・高校の全保護者
本校のホームページに公表	4月	府民
<ul style="list-style-type: none"> 学校長所見 <p>全評価項目における全評価指標にA判定が出たことは、本校の教育活動が肯定されたことと自負している。毎年、年度当初に、教育方針を自ら全教職員に熱く語りかけ、教育活動のあらゆる分野・各所において、各評価指標が示す精神がすみずみまで行き渡るよう願っている。</p> <p>平成20年度の自己評価では、「研修」に関する評価指標にB判定が出たため、平成21年度はその克服に努めた。平成21年4月15日（水）の学校評価委員会において、その克服のための方策を検討した。次のような改善方策をたて、全教員で努力を重ねてきた結果、平成21年度はA判定となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「研究授業」の実施 <ul style="list-style-type: none"> 普通コースの5教科〔国語・数学・社会・理科・英語〕で実施。 教科主任は、目標の設定・担当者の決定・実施計画・実施日時案を作成し提出。実施後、教科会で検討を行い、報告書を作成して提出。 普通コースの担当者相互による「授業見学」の実施 <ul style="list-style-type: none"> 年間2回以上〔1学期1回以上、2学期1回以上〕 見学者は、参考になった点を中心にレポートを作成して提出。 特進系クラスの担当者の外部研修参加の確保 <ul style="list-style-type: none"> 教頭が計画し、参加者を指名する。 <p>また、平成21年度は、「私学の独自性」と「学校経営の参画意識」に関する、2項目の評価項目を新たに設定し、評価指標を27とした。</p> <p>最後に、全項目全評価指標にA判定を受けたが、次の評価指標を重点項目として取り組むことを、全教職員に伝達した。</p> <p>平成22年度重点項目としての評価指標10 「到達度の低い生徒に対して、意欲や興味・関心を引き出す工夫」</p>		